

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和6年2月21日

事業所名: 放課後等デイサービス 樹のん

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改 善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			十分な広さがあり活動や支援内容で使用する訓練室を3ヶ所に区別している。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○			長期休暇や利用人数により指導員の人数を調整している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差を無くすようマットで調整し、角部分にはエアークッションを付け衝撃を和らげている。	
業務改善	4 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員一丸となり同じ目標に向けて業務に取り組んでいる。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の意見等がある時はすぐにミーティングを開き改善に向けて話し合っている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所のホームページで公開	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			不定期であるが積極的に外部の方を招き、事業所観覧をしていただきご意見を伺っている。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に豊富な経験を持つ児童福祉事業者の方の研修に参加している。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			相談事業所に事前情報を聞き取り、保護者の思いを受け止めながら情報把握して直接支援に繋がるよう努めている。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			複数の指導員で立案し検討している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用児・保護者の意見も考慮し組み込んでいる。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			事前に毎日の課題を決めており、活動・支援がスムーズに進むよう話し合っている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童の様子に変化があれば、都度、計画について話し合いを行い調整している。	
	15 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日ミーティングを必ず行ない、一日の行動把握の徹底を行なっている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎後、必ずミーティングを行なっている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			指導員同士で振り返りを行なってから支援記録に書き留めている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			児童に合わせて、3ヶ月または6ヶ月毎のモニタリングを計画している。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			ガイドラインに沿って支援計画を作成し、支援を行なっている。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改 善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			お迎え時に担任から引き渡してもらい、情報共有を毎回行っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			現在は体制が整っていない為、受け入れていないが今後検討していきます。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			現在は対象児童は居ないが今後に向けて体制を整えていきます。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			運動活動で公園等に行った際は、周りで遊んでいる地域児童と一緒にサッカーや鬼ごっこをして楽しんでいる。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○			
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳でのやりとりや、送迎時に共通理解の場を設けている。	
保護者への説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			不安を感じている親御様へご自宅へ訪問した際や事業所にて相談支援等を行なっている。	
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			見学时・契約時に複数の書類を見せながら細かく説明をするよう努めている。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			育児についての相談支援等を電話で行ったり、直接対面にて、ご自宅や事業所で行なっている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		新型コロナの状況により、今後はニーズに応じて保護者会を検討していきます。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○			体制は整えて保護者に周知しているが、早期解決を目指して迅速な対応を心がけていきます。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月活動計画表を配布しており、定期的にブログをアップし活動の様子を伝えている。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			個人情報記載の書類を鍵付き書庫に保管し、事務室以外から持ち出さないよう徹底している。	
36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			発語が苦手なお子様に対しては絵や写真を見せながら意思疎通を図り、親御様へは連絡帳等を活用し対応している。		
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			法人でお付き合いのある方々に年に数回招待し、見学し御意見を頂く機会を設けている。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改 善目標
非常時 等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対 応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知してい るか	○			マニュアル作成し、保護者の緊急連 絡先(携帯・職場)をしっかり把握して いる。来訪者への消毒・検温を徹底。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練を行っているか	○			春と夏に避難訓練を実施している。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等 、適切な対応をしているか	○			法人全体で年1回以上の虐待防止委 員会を開催し、各事業所にて研修を 行なっている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかにつ いて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説 明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に 記載しているか	○			法人全体で年1回以上の身体拘束に ついての適正化について委員会を開 催し、各事業所にて研修を行なってい る。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示 書に基づく対応がされているか		○			今後、医師の指示書を元に医 療連携体制を取っていけるよう 対応していきます。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有してい るか	○			事故や怪我等があった際は報告書 を作成し、繰り返さないよう改善策につ いて都度話し合っている。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)